

同窓会報

(詳細は14ページ)

御幸寮 リニューアル!!

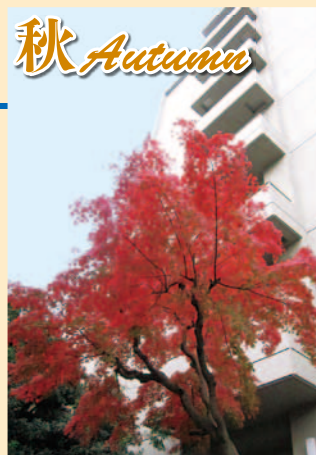


法文キャンパス

夏 Summer

秋 Autumn

四季の風景



愛媛大学法文学部同窓会事務局

法文同窓会に関わった10年

愛媛大学法文学部同窓会副会長

山本 求 (1979文卒)



目次

山本副会長ご挨拶	2
法文学部同窓会 総会ご案内	3
理事会報告	3
EHIME UNIVERSITY NEWS	4
Photograph around Campus	4
松本理事 副学長就任	6
退職された教員の方々	7
卒業生から	8
トピックス	9
インタビュー	10
同窓会 提供講座 報告	12
御幸学生宿舎	14
支部だより	16
平成23年度卒業記念祝賀会	18
パズル・編集後記	20



日本史で3年先輩だった故山口孝義先輩から「僕の後に法文同窓会の理事してくれんかな？」と電話をいただいたのが10年前になります。「僕は毎回出られなかったから」というのも引き継いで、最初の1～2年は理事会に出たかどうか記憶に残っていません。

ところが2年経った8年前くらいでしょうか、現会長の水口弁護士(法50年入学の同学年で、寮では1年、生協設立運動は3年一緒に活動していました)から電話がかかってきて「ちょっと助けてや」という感じだったのでしょうか。理事会に出向くといろんな事態が起こっていて、自分は経緯に関わっていないことや、大学生協が職場で大学に近いこともあったのでしょうか、事務局長を仰せつかることになりました(どこの飲み屋で決まったかも覚えています)。

それから事務局長時代の5年間とその後の副会長の3年間は、仙波・玉井・水口会長の下で多くの理事の皆さんも様々な形でご参加いただき充実した活動ができました。会報がカラー化し、規程整備が進み、四国支部が発足、法文学部への提供講座がスタート、同窓会HPが立ち上がり、50周年記念時計が設置され、レセプションが盛会にできたり、皆様には心から感謝しております。

心がけたことは、① 会員の皆さんの交流のために新しいことにチャレンジすること、② 理事会を大切に理事の皆さんの参加参画をお願いすること、③ 愛媛大学と法文学部の発展のためにできるかぎりの協力をさせていただくこと、でしょうか。

こんな風には書くと同窓会を辞めるのかなと思われそうですが、私自身はこの間にいろいろ経験させていただいた恩返しもある、来期からは一理事としてお役に立てるだけ頑張ろうと思っています。

是非またお声をおかけ下さい。今後ともよろしくお願いします。



2012.07.05
スイスのグリンデルワルドにて記す



題字：柴田 祐昭
(文理学部人文学科史学専攻・第8回卒)
[明楽寺住職・愛媛県美術会常任評議員・
県展審査員・毎日書道展審査員]

第13回 法文学部同窓会 総会ご案内

懐かしのキャンパスを訪れてみませんか？

日 時：2012(平成24)年11月17日(土)

15:00～ 四国支部総会
15:30～ 本部総会(支部活動報告)
16:00～ 愛大ミュージアム見学
17:00～ 懇親会

会 場： **総 会** 愛媛大学法文学部大会議室(法文学部本館8F)
懇親会 愛媛大学生協食堂2F(松山市文京町3)

内 容：3年間の活動のまとめ・支部活動報告・役員改選・次期活動方針など

会 費：3,000円(懇親会) ※当日ご持参ください。

◎同封のハガキに出欠を記入して10月24日までに投函してください。

※総会のみ、懇親会のみでも構いません。お知り合いの同窓生の方を誘ってご参加ください。



連絡先：法文学部同窓会事務局長 とりう やすとし 鳥生 勉 歳
Tel. 090-4506-1684
E-mail: ytoriu@ybb.ne.jp

愛媛大学法文学部同窓会理事会報告

2011年度 第2回(通算第54回)理事会

日 時：2011年10月27日(休) 18:00～21:00
場 所：愛媛大学校友会館2階サロン
出席者：22名

【報告事項】

- 2011年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」スタート
- 支部総会報告・支部長会議
- 名簿管理専用PCの導入について
- 2011年・第15号同窓会報
- 会報の納本について

【審議事項】

- 田村監事に替わり都築昭三さん(1967年経)の就任を提案
→ 承認されました。
- 2011年度法文学部同窓会提供講座の懇親会について
→ 承認されました。
- 次回総会(2012年)に向けて理事の交替など
→ 学科に分かれて確認しました。
- 東日本大震災支援について
→ 継続審議となりました。

2011年度 第3回(通算第55回)理事会

日 時：2012年2月9日(休) 18:00～21:00
場 所：愛媛大学校友会館2階サロン
出席者：21名

【報告事項】

- 2011年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」終了
- 支部総会報告
- 愛媛大学同窓会会長・校友会理事会報告
- 経理報告
- 2012年・第16号同窓会報・編集委員会スタート
- 第2回ホームカミングディ報告

【審議事項】

- 鶴村理事に替わり杉田栄治さん(1987年経)の就任を提案
→ 承認されました。
- 次回総会(2012年)に向けて日時・理事の交替など
→ 承認されました。

2012年度 第1回(通算第56回)理事会

日 時：2012年6月15日(金) 18:00～21:00
場 所：愛媛大学法文学部大会議室
出席者：27名

【報告事項】

- 2012年度・法文学部同窓会提供講座「社会と人間」
- 同窓会員 会員数報告
【2012年3月末日 卒業生】
総合政策学科 昼間主256名 夜間主90名 計346名
人文学科 昼間主110名 夜間主64名 計174名
【2012年4月 入学者】
総合政策学科 昼間主287名 夜間主62名 計349名
人文学科 昼間主145名 夜間主51名 計196名

- 支部総会等予定
- 会長会・校友会理事会予定
- 2012年・第16号同窓会報の進捗状況

【審議事項】

- 2012年度提供講座講義内容の記録、懇親会について
→ 承認されました。
- 2013年度法文学部同窓会寄付科目・提供講座の開講について
→ 承認されました。
- 11年度決算の承認
1) 収入は新入生会費565万円、利子収入5万1,240円、計570万1,240円。
2) 支出は事務局手当96万円、支部活動費130万1,880円、会報発行経費304万2,720円、学部学生就職支援91万7,718円など、計748万7,210円。
3) 6月11日(月)に、高谷監事と都築監事により監査を行いました。
→ 承認されました。
- 12年度の事業計画
1) 支部活動の活性化を重視し、財政のあり方と支援内容について検討し、充実を図ります。
2) 同窓会名簿の充実をはかるとともに活用方法を検討します。
3) 同窓会報は、同窓会員への大学紹介や会員相互の情報交流の場として、毎年1回の発行を行います。また、ホームページの充実をはかります。
4) 「提供講座」「寄付科目」だけでなく、法文学部からの要請に応じて「教育・学生支援事業」への参加・参画を進めます。現役学生とのつながりを広げます。
5) 11月17日(土)の総会に向けて、現体制の総括と新体制へのスムーズな移行をはかります。
6) 日常の活動強化の基本となる、明るく活発で民主的な理事会運営に努めます。
→ 承認されました。
- 12年度予算の承認
1) 収入567万5,000円、支出約873万9,300円で予算化。
2) 収入は新入生545人で545万円に利子収入5万円と総会収入17万5,000円を加えて567万5,000円の見込み。支出は印刷費・宅配送料、支部交付金、総会費用以外は、昨年実績にほぼ準じる。
→ 承認されました。
- 総会(11月17日)の日程と出席者等について
→ 承認されました。

EHIME UNIVERSITY NEWS

松山市による「第13回学生による政策論文」において
本学学生が上位3賞を独占しました

2011.12.5(月)



▲受賞した3人を囲んで記念写真（後列は指導された教員と柳澤学長）

学生が松山市政に誇れるまちづくりを政策提案する「第13回学生による政策論文」において、本学学生3人が、最優秀賞・優秀賞(2人)の上位3賞を独占しました。本事業において、本学学生が上位3賞を独占するのは初めてのことであり、地域にあって輝く大学として、地域の発展に貢献する学生教育がしっかりとされている証としてアピールできるものです。

最優秀賞の農学部3回生の加藤なつみさんは、「松山市公民館連携型の市民農園で耕作放棄地を減らせ！」と題した論文で、「松山市には耕作放棄地が少なくない。各地区の公民館が連携し、小学生や家族を対象に耕作放棄地などを利用した市民農園で体験活動に取り組み、放棄地が減れば大きな意味がある」と受賞の抱負を語っていました。



▲野志市長より賞状をいただく加藤さん



▲受賞された皆さん
(左より東さん、重松さん、加藤さん)



▲最優秀の賞状と盾

優秀賞を受賞した法文学部3回生の重松香織さんの論文は「松山市まちづくりベースマップで紡ぐ松山の人のまちづくり」と題し、松山市で様々な団体が作成している地図が統一されていないことに気づき、松山市が作成している地図をベースに、防災や福祉、観光など必要に応じて、ピックアップして地図を作成するというものです。

同じく優秀賞を受賞した法文学部の東賢吾さんは、「三津浜のんびりサイクリングツアー～ポタリングで三津浜にハマろう～」と題した論文で、古い町並みの残る三津浜地区を自転車でゆっくりまわることを考え、ポタリング用の地図を作成したり、案内板の表示、三津の渡しの活用策などを提案しました。

表彰は、12月5日(月)に松山市の坂の上の雲ミュージアムで行われ、野志克仁市長より直接賞状を手渡されました。野志市長は、「学生の皆さんの貴重な提言を市政に反映していきたい」と述べられていました。

12月13日(火)には、受賞者の3人はそれぞれの指導教員とともに、柳澤康信学長に受賞報告に行きました。3人は論文の概要を報告し、それに対して柳澤学長よりコメントが贈られました。また、今後も、これに満足することなく、積極的な活動をするように励ましいただきました。

本政策論文への応募は149作品あり、1次審査で14作品に絞られ、プレゼンテーション・質疑応答による2次審査を通して選ばれたものです。

Photograph around Campus



(2012.5.30)



(2012.5.30)

ハナちゃん情報



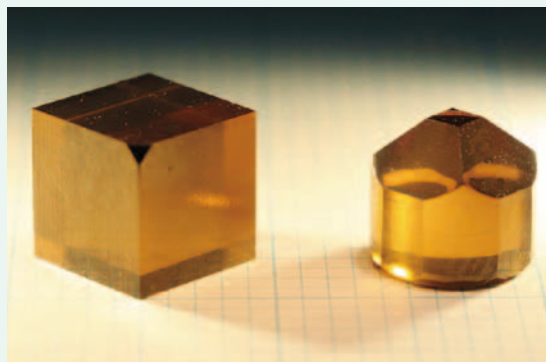
地球深部ダイナミクス研究センター(GRC)が中心となり開発された ヒメダイヤ(ナノ多結晶ダイヤモンド)が、アメリカ地球物理学連合(AGU)の ニュースレター誌(EOS)2012.2.14発行(volume 93 number 7)のFeature Articleに 掲載されました

アメリカ地球物理学連合(AGU)は世界中に多数の会員を持ち、例年サンフランシスコで開催されるAGU総会は、毎年開催されている国際的会議としては、すべての研究分野の中で世界最大であるとされています(2011年12月の参加者は約2万1千人)。

EOSはAGUにより毎週発行されているニュースレター誌ですが、その1面トップのFeature Articleに、GRCの入船徹男センター長と、カーネギー研究機構地球物理研究所(Geophysical Laboratory、GL)のHemley所長の共著による記事が掲載されました。本記事では、GRCの「世界最硬ヒメダイヤ」と、GLで開発された「超高硬度CVD単結晶ダイヤモンド」のそれぞれの特徴と、その応用の現状について解説されています。

Feature Articleは専門家3人の厳しい査読により掲載の可否が決定されており、ヒメダイヤが新しい材料として世界的に高い注目を集めていることを示しています。

なお、ヒメダイヤは、2012年1月25日付日経産業新聞の先端技術「2011年度技術トレンド調査」と題する記事の中で、「評価した専門家から『よくぞ作った』との意見が出た」と紹介されています。



▲マルチアンビル超高压装置用に加工された
ヒメダイヤアンビル

愛媛大学の学生が編集しました 「まちづくり!! まつやま新聞」が発行されました

松山の学生がつくるまちづくりフリーペーパーとして、松山市の公共機関等に置いてある「まちづくり!! まつやま新聞」があります。今回の「2012年3月発行 第013号」から、愛媛大学の学生が編集をすることになり、学部・学科を越えた学生の集団「まちづくり!! まつやま新聞編集委員会」(地域創成センター登録団体)を結成し、NPO法人地域共創研究所NORA、そして、坂の上の雲ミュージアムの協力の下、発行することになりました。

写真は、その「第013号」です。今後、松山市内の各所、愛媛大学内にも置いてもらうようになるかと思いますので、ぜひ、手にとって見てみてください。学生の学生による松山のまちづくりについて、役に立つ情報満載です。なお、ブログでも「まちづくり!! まつやま新聞編集記」(<http://blog.livedoor.jp/mtpnjp/>)として発信をしていきます。

また、この新聞の発行は、地域との協働事業でもあります。年3回のペースで発行予定です。随時、編集委員を募集していますので、大学側の担当の農学部・小田清隆准教授、教育学部・富田英司准教授に連絡をしてください。

「第013号」にもあるように、3ケタの発行に繋がるよう愛媛大学として継続した地域との連携を目指しています。



▶編集に関わった学生メンバー

農学部農山漁村地域マネジメント特別コース(4回生)	
加藤なつみ(編集長)、谷田 任(副編集長)、松田純一	
法文学部人文学科(4回生)	大葉由麻
教育学部総合人間形成課程(4回生)	浅木菜津美
法文学部総合政策学科観光まちづくりコース(3回生)	
岩下紗矢香、武部圭洋	
教育学部総合人間形成課程(3回生)	矢野萌子
法文学部人文学科(3回生)	橋本悠美
教育学部芸術文化課程音楽文化コース(3回生)	平井あり

太養軒 復活!!



2011年5月に閉店したものの11月に復活した太養軒



♫じゃんぼ。系など、懐かしのメニューも健在



カツ丼定食(500円)。
豚肉の下にはモヤシとキャベツがたっぷり!

EHIME UNIVERSITY NEWS

愛媛大学連として学生・教職員約100人が 「松山まつり野球拳おどり」に出場しました

2011.8.13(土)



▲さあ、出陣!!

街をスタートし、大街道、千舟町通りを、野球の基本動作「投げる・打つ・捕る」をイメージさせるパフォーマンスと、若さあふれる踊りで一体となり進んでいきました。また、今年は、踊りが終わるごとに、東北にエールを送りました。

踊り終えた後は、学生・教職員の垣根を越えて、達成感と満足感に包まれていました。そしてこれからも、今後も地域との交流の場として、また、学生・職員の絆を深める良き機会として、愛媛大学を地域にアピールしていくことを胸に来年の出場を誓いました。

(※愛媛大学連は、優秀賞「愛媛朝日テレビ賞」を受賞しました)

愛媛大学は「地域にあって輝く大学」を目指し、地域の方々へのPRと愛媛大学の存在感を存分に発揮するために、松山まつりに出場しました。松山まつりへの参加は、平成9年から15回目の出場となります。今年は、愛媛大学の学生・教職員に加え、教育学部附属中学校の生徒も参加しました。

愛媛大学連は本番に向けて、牛山眞貴子教育学部教授やDance.AZ.の学生の指導のもと、厳しい練習を重ねてきました。

当日は、最後の仕上げ練習を行ったあと、参加者、裏方含め約120人が赤を基調としたデザインのTシャツを身にとり、出陣式を行いました。

午後6時40分頃、柳澤康信学長を先頭にロープウェイ

新入生歓迎ハリボテコンテストを開催しました

2012.4.28(土)

平成24年4月28日(土)午後、総合情報メディアセンター前で、ハリボテコンテストを開催しました。

この行事は、新入生に少しでも早く大学生活に慣れてもらい、親睦・交流を深めることを目的に毎年開催されています。新入生は、入学後からこの日を目指して、チームで一致団結して取り組んできました。

当日は、初夏の陽気を感じさせるほどの好天気恵まれ、会場となった総合情報メディアセンター前には、出場者のほか、多くの観客が集まり、コンテスト開始前から熱気に包まれていました。

コンテストは、ハリボテの完成度と5分間のオリジナルパフォーマンスをそれぞれ100点満点で審査した合計得点により順位が競われ、また、ハリボテとパフォーマンスのそれぞれで評価の高かったチームへ、ハリボテ賞、パフォーマンス賞が与えられます。

今年は18チームのエントリーがあり、各チームとも丹精込めて制作したハリボテを担ぎ、5分間の限られた時間の中で、アイドルグループやアニメの主人公たちに成りきり、息の合ったパフォーマンスを繰り広げ、会場からは笑いと賞賛の拍手が沸き起こっていました。審査発表後も、熱気と歓喜の余韻はさめやらず、やり遂げた充実感に輝いていました。



▲優勝した法文学部総合政策学科1班

【審査結果】

優勝 法文学部総合政策学科1班

第2位 農学部後半

第3位 農学部前半

ハリボテ賞 工学部機械工学科

パフォーマンス賞 工学部情報工学科

松本理事が愛媛大学副学長に就任



2期目の柳澤学長を教育担当理事・副学長として支えていた人文学科の弓削先生が体調不良で辞退され、後任として2008年度から4年間教育担当の学長特別補佐を務めていた松本長彦教授が就任されました。任期は2012年4月から2015年3月までの3年間。会

社でいうと取締役のようなもので、大学の教育活動全般の統括をする役目だそうです。

松本先生のコメント

「これまでのように学部での講義は続けますが、研究の時間がほとんど取れないのが辛いところです。おそらく法文学部卒業生初の理事・副学長ですので、母校のために与えられた職務を精一杯果たしたいと思います」

ご活躍を期待いたします。

退職された教員の方々

- ① 愛媛大学にいられた年
- ② 所属の学部学科
- ③ 研究・専門について



湯浅良雄先生

- ① 昭和58(1983)年
- ② 法文学部総合政策学科
- ③ 労働経済

出 生 1946年
出身大学 同志社大学
最終学歴 立命館大学大学院経済学研究科後期課程
(1982年修了)
学位・称号 経済学博士
専門分野 労働経済論
研究テーマ 現代労働過程論、労働の人間化
所属学会 社会政策学会、労働理論学会

私は、昭和53年に愛媛大学に赴任しました。4月の初めに、愛媛大学に初出勤したときには、構内に桜の花が咲き乱れ、今もその鮮やかさが目に焼きついています。それからあっという間に29年が経ち、定年退職を迎えました。

愛媛大学には、地方の大学なのでゆったりとした雰囲気、研究にいいという期待で赴任しました。事実、学生たちもすぐに打ち解けてくれ、ゼミナールの後、ソフトボールをしたり、お酒を飲みながら語り明かし、地方大学の良さを満喫しながら、教師生活を送ることができました。しかし、当初から、学生たちが4年間愛媛大学で学び、本当に得るものがあるのでしょうか、どうすれば学生たちがもっと有意義な大学生活が送れる大学にできるのでしょうか、ということにいつも悩んでいました。

しかし、その答えが見いだせないまま、40歳の後半からは、学部・学科改革の連続で、その対応に追われる日々が続くようになりました。経済学科と法学科の総合政策学科への改組、大学院の法文学研究科への改組、ロースクールの設置、さらに独立大学法人への移行、特別コースの設置を柱とする総合政策学科の教育改革等々と、眼がまわるような忙しさでした。そのようななかで、私が唯一誇ることができるのは、どのような改革であっても、学生たちにとって本当に学びがいのある大学に一步でも近づきたいという視点を貫こうと努力してきたことです。この10年間、愛媛大学も大きく変化し、学生主体の大学に向けた改革が大きく前進してきましたが、まだまだ道半ばといわざるをえません。今後のさらなる前進を大いに期待しています。

最後になりますが、私が学部長をしていた時に、法文学部教育棟の裏庭を整備し、桜の木を植えました。私が赴任した時期に比べると、構内の桜の木がずいぶん減り、さみしく感じていました。また、これまで法文学部には、学生たちが語らう空間がほとんど整備されていませんでした。これからも、毎年学生たちが、満開の桜を見て入学し、また桜の蕾を見ながら卒業して行くことでしょう。



林 康次先生

- ① 昭和48(1973)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ 英語コミュニケーション論

出 生 1946年
出身大学 成蹊大学
最終学歴 東京都立大学大学院人文科学研究科英文学
(1973年修了)
学位・称号 文学修士
専門分野 南北アメリカ / アメリカス論
研究テーマ チカーノ文学とマルティニク文学との相関性研究
所属学会 日本アメリカ文学会、日本アメリカ文学会中・四国支部



望月佳重子先生

- ① 昭和51(1976)年
- ② 法文学部人文学科
- ③ 英米文化

出身大学 津田塾大学
最終学歴 津田塾大学大学院文学研究科博士課程
(1975年単位取得退学)
学位・称号 文学修士
専門分野 英米少数民族女性文化と文学
研究テーマ 先住アメリカ人女性文化と文学、アフリカ系アメリカ人女性文化と文学、女性学、ポストコロニアリズム論、多文化共生論
所属学会 日本アメリカ文学会、日本アメリカ学会
CAAR(Collegium for African American Research)
MESEA(The Society for Multi-Ethnic Studies : Europe and the Americas)



2004年卒業 徳藤 宏子

〔総合政策学科〕

愛媛大学を卒業して8年が過ぎました。早いものです。最近、仕事で大学に行く機会があり、学内を散策するうちにいろんなことを思い出しました。

大学に入学した2000年。当時、モーニング娘。が大好きで、もっぱらカラオケで歌って踊っていました。2012年現在、AKB48が大好きで、もっぱらカラオケで歌って踊っています。私、なんにも変わってないな……としましたが、学内はだいぶ変わっていました。

駐輪場はきれいに整備され、図書館もより明るい雰囲気になっていました。そして、なんといっても、学食!! おしゃれなイタリアンのお店ができていました。その名も「セ・トリアン」。ちょっとおじゃまして夕食をさせていただきました。料理もお酒も最高で、特にピザとソーセージがとってもおいしかったです。在学中なら、入り浸ってしまうだろうな……と思いました。

学生時代、私が入り浸っていたのは法文学部講義棟裏のボックスでした。法文学部新歓学祭実行委員会（通称HSG）のメンバーとして、新歓行事や学祭の企画・運営をしていました。炊き出しをしてハリボテを作ったこと、毎晩遅くまで学祭の準備をしたことはもちろんですが、HSGのみんなで行った卒業旅行が一番の思い出です。大雪の中、岡山の温泉に行ったこと（写真）、みんな覚えていますか？

現在の私は、会社の組合活動においても、イベントの企画・運営に携わっています。春はイチゴ狩り、夏は地引網、秋はバーベキュー、冬はスノボなどなど、HSGでの経験を活か



↑ 大雪の中の卒業旅行（右から2人目）



↑ 岡山の温泉旅館にて（右から3人目）

して楽しくがんばっています。

このように遊びのことはすぐに、かつたくさん思い出せたのですが、学業についてはなかなか思い出せませんでした……が、ようやく思い出しました。秋谷先生の中国語の授業!! おもしろかったです!! 「漢字は嫌いじゃないので、フランス語やドイツ語よりかは、なじみやすいかも」という単純な理由で受講を決めました。しかし、中国語の発音に慣れず、どうしても笑ってしまったこと、申し訳なく思います。ただ、社会人になって中華料理店の店員さんと少しだけ中国語で会話ができたことは、先生のご指導のおかげだと感じました。ありがとうございます。



↑ 伊予銀行従業員組合（後列一番右）

また、中国語で歌を歌いましょうという課題があり、岡本真夜の「TOMORROW（中国語バージョン）」を夜な夜な一人で練習しました。歌詞カードを見て、カセットテープを聴いて中国語を口ずさむ姿、怪しかったかもしれません。その甲斐あってか、今も覚えています。あのイントロが流れてくると、私は日本語ではなく中国語が出てきてしまいます。社会人になってカラオケで中国語バージョンを歌ってみたら、ややウケでした。もっと熱心に練習していたら、バカウケだったのかな……（笑）

たしかに、今思うと「学生時代にしておけばよかった」と思うことは山ほどあります。就活中の学生に「学生時代にしておけばよかったと思うことは何ですか？」と聞かれることがあります。その時、その時、自分のやりたいことを頑張ってやっていれば、「学生時代にやっておいてよかった」と自信を持って言えることがあれば、それでいいのかなと思います。

最後に、マイブームの紹介をさせていただきます。『男はつらいよ』です。休日には家でのだんごDVDを観ています。昔から知っていた映画ですが、本格的に観るようになったのは、この1年です。寅さんの言っていることが身に染みるようになるというのは、年をとった証拠でしょうか……。仕事をしていると、辛いこともたくさんありますが、寅さんの振る舞いや何気ない言葉に勇気をもらいます。「明日からも、仕事頑張ろっ!」と思えるのです。ちなみに、おすすめは39作目の『寅次郎物語』です。ぜひ、ご覧下さい。もし、レンタルショップで貸出中になっていたら、私が借り占めている可能性がありますので、ご容赦下さいませ。

おたよりお待ちしております。

〒790-8577

松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内

愛媛大学法文学部同窓会

E-mail : aidai-houbun-dosokai@sings.jp

1989年卒業 高垣 ルミ

[文学部日本・東洋文化コース]

大学を卒業して20年あまり。縁あって再び学内を訪れる機会を得、博物館にイタリアンレストラン、カフェ、すっかりきれいになった構内をぶらぶらして楽しみました。

学生時代の思い出を書くように言われたのですが、コーヒーを飲みながら談笑している学生たちを見ていると、自分の後ろを思い出すより今から彼らが向かっていく明るい方を見たい、と思いました。

「ドンナ学生時代デシタカ？」と最近、何度か尋ねられましたが、人の後ろの部分聞いて参考になるのは平凡でない人に限ります。ただ、いろんなムダや失敗を重ねて分かってきたことは、求める答えはすべて自分の中にある、ということです。若い時は自分の向いている方向が分からないから、困ったり焦ったりイライラしたり、ますますわけが分からなくなります。

自分の向きたい方向がどっちなのか、自分は進んでいるのか後ずさりしているのか、自分の居場所さえも。そんな時に人の経験をいくら聞いてもそれは人に起きたことで、自分のことにはならない。……そんな学生時代だったなあ。

あのイライラや不安は先が見えないことへの恐れでした。後ろを見れば後悔と自己批判。不安と罪悪感を行ったり来たりして、一歩踏み出せないことの言い訳をしていたあの頃。目の前の学生たちも同じような青春の渦の中で精いっぱい生きているのだろうな、と思います。

どっちを向いているやら分からなかった学生も、就職してあちこちで頭をぶつけながらあっという間に20余年。若い



← 提供講座で「教育の現場で働く」をテーマに学生に講義する
(2011年10月13日)

頃は「あっという間の○○年」なんて言い方はピンときませんが、年相応に分かるようになりました。そして、あっという間に人生が進んでいくから、どうせならワクワクすることを考えながら生きていこうとも思います。

「ワクワクすることって？」

思春期の子どもや病氣などでどちらかという死に近い人、その周囲の人たちに接する機会が多く、その中にいて思うのは、「どんな状況であっても痛みを取り、喜びを感じる人生を送ることができる」ということ。その手伝いができた時に、心の底から「ああ、よかった」と思います。自分と周りの「ああ、よかった」の経験を1つでも2つでも増やしながらか人生後半はやっていきましょう。

自分はこれでいいのだ、と思えるようになったのは失敗、無理、ムダをやってきたおかげだと思います。きっとその最中にいるカフェの学生たち。どんな環境の中でも「自分で選ぶ」を思い出せば幸せにたどり着く。未来は明るくするものです。そんなことをつらつらと思いながら、席を立ったのでした。

トピックス

宇都宮眞由美四国支部長が 日弁連副会長に就任



宇都宮眞由美四国支部長が2012年度の日本弁護士連合会の副会長に就任されました。任期は1年です。昨年度に四国弁護士会連合会の理事長に就任されており、四国弁護連の推薦を受けての日弁連副会長の就任で、2年続けての大役になります。日弁連は会長選挙が初めての再選挙となるなど、司法改革や弁護士のあり方をめぐって激動の時ですので、副会長としての任務は例年以上に大変なことです。主に家事法制委員会などを担当され、弁護士法制定時の原点を考えた活動したいと抱負を述べられています。同窓会四国支部では、宇都宮支部長に日弁連で思う存分活躍されるように支部長代行を置き、全面的にバックアップしています。

放送大学で勉強してみませんか

森孝明・元法文学部長(同窓会理事)がご紹介



2011年4月1日付けで放送大学特任教授となり、愛媛学習センター所長に就任いたしました。愛媛大学内にセンターができて17年目、所長は私で5代目です。愛媛大学と緊密な連携を取っていますが、放送大学は千葉市に放送大学学園本部がある全国組織の通信制大学で、学生数8万5千人、愛媛学習センター所属学生は20歳代から80歳代まで千人を超えています。教養学部と文化科学研究科(修士)の大学教育とともに、300科目から好きな1科目でも受講できる生涯学習の場でもあります。人生経験豊富で知識欲旺盛な人々がセンターを利用しています。同窓会の皆さんもひとついかがですか。資料は下記にあります。



放送大学 愛媛学習センター

電話 : 089-923-8544

<http://www.campus.ouj.ac.jp/~ehime/>

黒木法文学部長 (人文系担当学部長)

白石事務課長 に聞きました



黒木幹夫法文学部長

1982年愛媛大学へ赴任。教養部から法文学部へ。
今年度、法文学部長に就任。

白石建樹事務課長

昨年、医学部から法文学部に異動。現在2年目（2回目の法文学部）。

聞き手：後藤珠希

（2006年卒、フリーアナウンサー）

長年、法文学部の運営にご尽力され、今年度、退職されるお二人に、最近の法文学部および学生の様子、同窓会への期待について語って頂きました。

◆昔と今の法文学部生の違いを感じますか？

黒木：最近特に変わってきたのは、自分から色々な経験をしなくなったということです。あらかじめ Territories を決めて安住しているというか、あまりチャレンジしたくないというか……。日本全国を見ても、海外に出たいという学生が減ってきているところに一番現れていますね。外に出ると、自分たちの大学や日本について客観的に見ることができるんですけどね。



黒木幹夫法文学部長

昔は休学してでも、海外に行ってチャレンジをしている学生が多かったですよ。ネパールに留学し、頭を丸めてお坊さんになった女子学生がいましたよ。色々な経験をしている人が多かったけど、今は、みんなと一緒にというところで安心してしまうのかもしれない。こじんまりとまとまっていることが残念です。

白石：海外といえば、今年5月1日～6日にかけて学長、副学長、黒木学部長と共に、学術交流協定締結のため、中国の天津外国語大学と吉林大学に行ってきました。中国は、大陸ですから大学の建物も大きくスケールが違います。日本の大学は、どちらかというところこじんまりしたイメージですね。中国の学生さんは、大陸育ちで型破りな性格が多いのか、自己主張ができる学生が多かったように感じました。

日本の学生は、周りを気にして同調するような言い方をしますが、中国の学生は、「私はこのように

考えています。」とハッキリ意見を述べるところが違うなと思いました。

現在、法文学部に在籍している留学生は約100名でその内68名が中国からの留学生です。彼らは、朝から晩まで一生懸命日本語を学んでおり、勉学に対する姿勢が違います。日本の学生を見ていると「ちょっと甘いかな」と感じる場合があります。

黒木：確かに、ゼミにいる留学生は日本人よりも発言するし、ちゃんと勉強してくるし、日本語もしっかりとしています。大学生になってから差が出るのではなく、それまでの教育過程に差があって、そのプロセスが大事ですね。今はゆとり教育を受けた学生がほとんどで、余計に変わってきていると思います。ちゃんとした日本語を喋ることができない、意見を言えないことに恥ずかしさを感じない。喋れなくても仲間とは話が通じてしまうし、家族とも通じるので、それがゼミでも通用すると思っているのかもしれない。今の学生、これで良いのかなあ……。かといって大学だけで直すことができる問題ではありません。しかし強いて言えば、トレーニングの場を設けることが重要だと思います。少人数のゼミでの厳しい教育が必要なのかもしれませんね。昔の学生は意見をしっかり言えていたのでトレーニングができていたということですね。



白石建樹事務課長

それと、初対面の挨拶ができない人も増えています。挨拶ができないのは、自分を閉ざしてしまっているということで、色々なところで人間関係が繋がっていることを考えると、基本的な挨拶などは、本来は家庭でしっかり教えて欲しいなと思っていますね。

◆その他、特に感じることはありますか？

黒木：最近は、「思う事」と「考える事」の区別ができていない学生が多いですね。「読む・書く・話す・聞く」という4つのプロセス抜きに思ったことをそのまま伝える学生が多い。思うことは誰でもできますが、考えた上で物事を伝えることはトレーニングが必要です。大学でも考えるトレーニングをするようにしないといけませんね。情報に振り回されないこと、自分を振り返ることが大事ですね。また、「大学を卒業して社会人になったら何をしたい！」というビジョンも、時間をとって振り返って考えて欲しいと思います。

白石：そうですね。学生さんには「見る・行う・考える」を是非実行してほしいですね。情報に囚われすぎないというか、先入観だけで物事を判断しないことも重要だと思います。

黒木：最近、部活に入っていない学生も多く、そうすると先輩・後輩の関係が薄いです。ゼミでの関係も薄くなってきたように思います。

白石：同じ釜の飯を食べた仲間というのは大切です。何年たっても関係が続きますからね。

◆昨年のインタビューで法文学部が2つの学部になるかもしれないという話がありましたが、その後、動きはありましたか？

黒木：現在の6学部（法文・理・工・教育・農・医）にプラスして最近では教育学生支援機構、社会連携推進機構、先端研究学術推進機構、国際連携推進機構の4つの機構ができました。学部と機構の連携ができたおかげで学部の垣根が低くなり、昔みたいに学部の自治というものが無くなってきています。2つの学部に分かれるというような法文学部の動きは、全学部との連携ができていないと絶対にうまくいきません。将来的に総合政策学科と人文学科の2つに分けるという前提で、現在は、学内に2学部体制がとられています。法文学部と教育学部が一緒になって案を積み重ねて、昨年度末に文部科学省に持っていきましたが、まだ実現はしていません。諦めたわけではなく、今年度は他大学の文系学部の様子を見ようと思います。将来的に2学部になるかどうかははっきりと分かりませんが、法文学部独自にどういう学部になりたいかという、総合政策学科と人文学科がそれぞれビジョンを持つように将来設計をしている状況です。

◆就職の状況は？

白石：法文学部は89.9%で昨年並みの就職率です。厳しい社会情勢が続いており、希望通りの就職という



のは難しいです。

そこで同窓会へのお願いとして、OB・OGの方から就職情報を提供していただけると助かります。後輩の学生を受け入れたいと考えている経営者や人事担当者を紹介して頂いたり、学生訪問を受け入れてくれる企業を紹介して頂くなど、サポート体制をよろしくお願い致します。（連絡先は下記参照）また学生は、積極的にフィールドワークやインターンシップに参加して自分を磨いてほしいと思います。法文学部でも就職相談室を独自に設けていますが、どうにもならなくなった頃にやっと足を運ぶといった状況なので、もっと初期の段階で相談に来て欲しいという担当者の声もあります。同じ相談室でいうと、昨年もお話しましたが、法文学部には学生支援室があり、教職員・学生が利用しています。現代の学生は、辛いことや嫌なことで学生生活に躓いてしまう人が多く、そんな悩みの相談で予約は結構いっぱいです。現在60人近い学生が継続的に相談に来ており、臨床心理士が対応する件数は、延べにして350件になります。

◆同窓会に求めるものはありますか？

白石：大学と同窓会と現役学生が三位一体となる活動がこれから重要となってくると思います。その一つとして年1回、後期に開講している「提供講座」は有益な話ばかりなので、できれば授業をDVDに残して就職相談室などに置いておけば、興味のある職種に就いている先輩の声を聞くことができます。費用的にもあまりかからないと思いますので、是非お願いしたいですね。（この時の対談をきっかけに、提供講座の撮影が実現する予定です）



後藤珠希

◆ありがとうございました

【就職情報の連絡先】
法文学部就職相談室

火曜・木曜 13:00～18:00 担当：横山さん
TEL：089-927-9229

※後輩のために就職情報をお寄せください。

同窓会 提供講座『社会と人間』

5年目となる平成23(2011)年度提供講座は、法文学部同窓会の全面的支援の下、同窓会員を講師として右記の日程で開催されました。

今年は人気の「20代の先輩と語る」「放送業界で働く」などのほか、初の試みとして「警察署長と語る」「証券業界で働く」「創業・システム開発(IT)への挑戦」など、学生の要望を取り入れながら、より充実した講師陣で臨みました。

例年通り、後期の毎週木曜日・第5限目に開催し、全15回、27名の講師にご協力いただきました。今年も100名以上の学生が受講し盛況でした。平成24年2月2日(木)には、お手伝いをしていただいた現役学生に感謝状を贈呈し、講師陣も交えて校友会館内のカフェレストラン「セ・トリアン」で反省会と懇親会を行いました。



反省会 (2012.2.2)

回	テーマ	担当日	担当講師名	卒業年・学科
1	ガイダンス	10/6	小池 昭彦 山本 求	1970・文経 1979・文
2	教育の現場で働く	10/13	塚原 竜一 高垣 ルミ	1991・文 1989・文
3	警察署長と語る	10/20	上田 憲二	1976・法
4	働く女性の現在	10/27	重松 直江 楊 泓	1994・経 2002・総政院
5	証券業界で働く	11/10	井上 哲男	1959・文経
6	小売業で働く	11/17	和田 幸光 渡部 眞丈	1976・法 2002・総政
7	金融業で働く	11/24	石井 学 徳藤 宏子	2006・総政 2004・総政
8	20代の先輩と語る	12/1	竹下 愛 庵下 智洋	2009・人文 2008・総政
9	出版・報道業界で働く	12/8	向井 秀則 金子 哲也	1997・文 2006・人文
10	公務員として働く	12/15	客本 宗嗣 森居 基修	1989・法 1989・法
11	愛媛農業振興に働く	12/22	黒河 安德 野本 学	1986・経 1996・法
12	創業・システム開発(IT)への挑戦	1/12	渡部 雅泰 杉本 隆	1985・経 1985・経
13	愛大職員として働く	1/19	久保 泰敏 岡田 裕子	1974・法 1990・法
14	放送業界で働く	1/26	岡田 千春 小田 歩	2006・総政 2005・総政
15	まとめ	2/2	水口 晃	1979・法



提供講座打ち合わせ会議

平成24年度 提供講座・寄付科目開講のお知らせ

▶2012年度 法文学部提供講座 開講計画

回	テーマ	担当日	担当講師名	現 職
1	ガイダンス	10/4	小池 昭彦 山本 求	法文学部同窓会副会長・ 株式会社アールエスエス 法文学部同窓会副会長・大学生協中国・ 四国事業連合常務理事
2	経営者として挑戦	10/11	新矢 一 渡部 雅泰	株式会社デン代表取締役 クレストデジタルズ代表取締役社長
3	金融業で働く	10/18	峯山 敦 川添 理央	愛媛信用金庫人事部研修課 愛媛信用金庫人事部研修課
4	警察・消防で働く	10/25	上田 憲二 寒作 典員	前松山東警察署長 (愛媛県信用農業協同組合連合会参与) 松山市消防署予防担当主任
5	アナウンサーとして働く・放送業界で働く	11/1	後藤 珠希 小田 歩	フリーアナウンサー 株式会社放送技術社
6	保険業界で働く(都会で働く)	11/8	高崎 泰典	第一生命情報システム株式会社相談役・ 愛媛大学校友会副会長・ 首都圏支部顧問
7	地域農業振興への挑戦	11/15	杉本 隆 鈴木 靖彦	JA愛媛中央会農政官農政課課長 JAえひめ中央リスク管理課課長
8	働く女性の現在	11/22	重松 直江 楊 泓	重松直江税理士事務所 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学 国際交流課
9	20代の先輩と語る	11/29	山本 文 土井奈々子	NPO法人いよこコロザシ大学 星企画(株)
10	小売業で働く	12/6	鈴木 清華 (未定)	ミニストップ(株)

11	教育の現場で働く	12/13	清家 信孝	愛媛県立八幡浜高等学校校長
12	図書館・報道業界で働く	12/20	加藤 太啓 天野奈緒也	株式会社愛媛新聞社編集局政治経済部 愛媛県立図書館相談係主任(司書)
13	公務員として働く	1/10	松本 亜紀 木戸 一成	広島市安佐南区地域おこし推進室主幹 広島市健康福祉局主事
14	愛大職員として働く	1/17	吉田 一恵 (未定)	愛媛大学総務部人事課長
15	まとめ	1/24	森 孝明	法文学部同窓会理事 (放送大学愛媛学習センター長)

▶2012年度 法文学部寄付科目 実施状況

学期	学 科	科目名	時間割	担 当 教 員
前学期	総合政策学科	不動産登記法	火曜5限	岡田潤一郎(土地家屋調査士) 末光 祐一(司法書士)
後学期	総合政策学科	経営学特講	月曜5限	熊谷 太郎(松山大学経済学部准教授)
	人文学科	伝統文化論	水曜3限	西尾 和美(非常勤講師) 畑守 泰子(非常勤講師)
	人文学科	国際交流の基礎	月曜4・5限	敷村 弥生(非常勤講師・まつる国際交流センター所長) 大森 典子(非常勤講師・愛媛県国際交流協会職員) 宮田さつき(非常勤講師)

* 同窓会員の方は聴講無料です。詳細は法文学部学務チーム(TEL. 089-927-9220)までお問い合わせください。
また同窓会ホームページ(<http://koyu.ehime-u.jp/houbun/blog/>)でもご覧いただけます。

講師の方に感想をお聞きました！

第11回「愛媛農業振興に働く」講師

JA愛媛中央会 黒河 安徳

地域とともに 働くよろこびを伝えたい



今回、「愛媛農業振興に働く」とのテーマでJA（農協）職員としての仕事や思いを紹介させていただきました。自分の就職時を思い返せば、農家の長男として役場に入るか、さもなくば農協に入れてもらうというのは至って自然な流れだったように思います。

今の学生の就職活動の苦労を考えると夢のような話ですが、「地元で暮らしたい」との思いを実現する選択肢がそれなりに用意されていた時代でした。

その後20数年が経過しましたが、農協はJAと名前を変えて、今も地域のくらしを支えるために様々な事業や活動を行っています。幸い、JA直売所や高齢者介護等新たな取り組みも評価をいただいておりますが、そんな取り組みを紹介しながら、愛媛大学に学び、地元で働きたい学生にJAを知ってもらう一助になればと思い、話をさせていただきました。

ただ、私が就職してから、オレンジの自由化等経済のグローバル化により地域社会や経済は疲弊が進みました。今またTPPの参加検討という地域のくらしを大きく変えかねない動きもあります。

その中で、愛媛大学の学生達に訴えたかったのは、東京発の論理や報道だけでなく、地域の尺度で自ら考え、地元の経済は自分達で回していくという気概を持って行動して欲しいということです。

その第一歩は、ジュースや牛乳はもちろん、地元産のものを食べ、地元で買い物をすることです。その行動が、やがて自分達の職場をつくっていくことにつながります。

そんなことを話しながら、自分自身も地元で働く同窓生の先輩・諸氏の企業等と連携を深め、少しでも後輩達に“地元で働ける場所”をつくっていきたい。

そんな思いを更に強くすることができた同窓会提供講座。企画運営に携わっていただいた学生・役員の皆様に感謝申し上げます。（1986年 経済卒）

第14回「放送業界で働く」講師

㈱放送技術社 小田 歩

このたびは、貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。現在、私は㈱放送技術社に勤務し、愛媛朝日テレビで「ココロタイム」の番組ディレクターをしています。

まさか私が教壇に立ってお話をさせていただくとは……。正直、勤勉な学生ではなかったため、「私なんか皆さんに何かお伝えできることがあるのか!？」と、とても不安だったのですが、私なりの“仕事に対する想い”をお話させていただきました。

私が担当する「ココロタイム」は、CM出稿の重要な役割を担うパブリシティ番組です。「パブリシティって何だ?」と、多くの方がそう感じたと思います。放送局の収入に関わるということで、「メジャーではないけれど、“縁の下”の力持ち的な番組”もあるんだ」ということを知っていただけたのではないかと思います。

講義では、皆さんが最後まで熱心に話を聞いてくれたことにとっても感謝しています。中でも、マスコミ業界に就職したいという学生さんに会えて、その熱意に感銘を受けました。がむしゃらに夢を追いかける姿が、私自身の仕事・生き方について考え直すきっかけになりました。



最後になりましたが、夢と希望にあふれる皆さん！失敗を恐れずに何事にもチャレンジを！失敗しても挫けずに、前を向いてください。未来は必ず開けます。

講義の中ではかなり偉そうなことを言いましたが、ちょっとでも皆さんの将来のお役に立てれば幸いです。

（2005年 総政卒）

御幸学生宿舎(旧御幸寮)

御幸学生宿舎は、学生の福利厚生を図るとともに、共同生活を通じて社会性の発達を助長することを目的として設置されています。

本宿舎は、大学メインキャンパスの西方約2kmの閑静な住宅地の中に位置し、大学までは自転車で10分程度で通学でき、市街地への交通も便利がよく、学生宿舎としては恵まれた環境にあります。

宿舎施設は、鉄筋建築で平成23年3月末にリニューアル工事を完了しました。

建物はA、B、C、Dの4棟で構成され、セキュリティシステムを完備した玄関を入ると、1階にはフードコーナー（食事及び売店）を有し、2階には多目的集会室を設けています。居室は、バス・トイレ・ミニキッチン・冷蔵庫・机・ベッド・エアコン等を備えた個室（男子225室、女子177室、留学生70室）となっています。

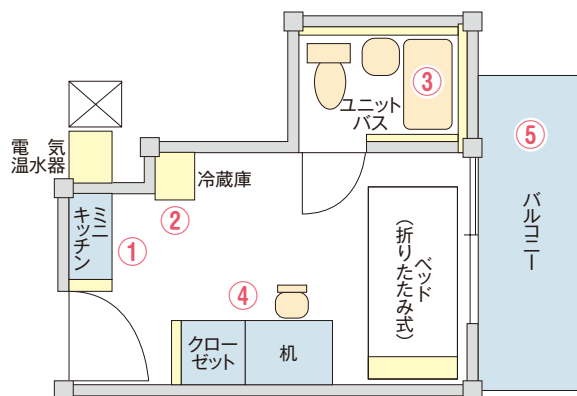
また各居室にはインターネットの配線が設備されていて、所定の会社と契約（有料）を結べば、安い料金でインターネットを利用することができます。

なお、洗濯については宿舎内にコインランドリーが設置されています。（愛媛大学ホームページより）

全部屋個室!!
留学生も受け入れ



エアコン完備。身の回りのものを運び込むだけで快適に生活できる



月額標準料金

	寄宿料	共益費	備考
男子A棟	16,000円	2,000円	1人室 11.70m ²
男子B棟	20,000円	2,000円	1人室 13.44m ²
女子C棟	20,000円	2,000円	1人室 13.68m ²
女子D棟	20,000円	2,000円	1人室 13.68m ²

清掃費 20,000円（退去時の清掃代として入居時に徴収します）



① ミニキッチン

IHヒーターなので火元も安全



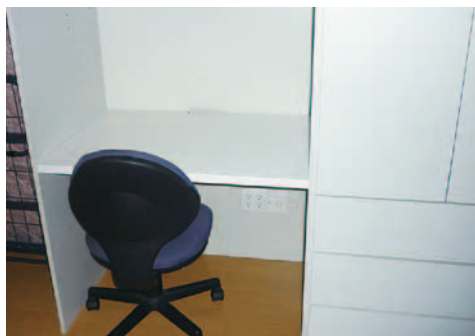
② 冷蔵庫

冷蔵庫は備え付け。上部空間にはラックを装備



③ ユニットバス

水回りが清潔で安心なユニットバス



④ 机・クローゼット

コンセントが装備された機能的なデスク回りとクローゼット



⑤ バルコニー

全室南向きで洗濯物も乾きやすい



整然とドアが並ぶ廊下。昔の寮のイメージとは全く違う



明るく清潔なエントランス



各階に備えられているコインランドリー室



セキュリティシステムを完備した各棟の玄関



広々とした吹き抜けロビー



水や調味料はセルフで。部屋で食べてもOK



学生に人気のメニューが充実



1階 売店（大学生協が担当）



1階 フードコーナー

インタビュー

Q：寮での生活はどのようなですか？

A：生活に必要なものが揃っていて不自由を感じることがありません。少し部屋は手狭だけど、テレビを観たりパソコンをしたりととても快適に過ごしています。

Q：マンション等で一人暮らしをしている周りの友人たちと比べてどうですか？

A：周りの友人はほぼ寮以外で生活していますが、やはり寮のほうが家賃が安くすむのが大きな違いです。また、親も寮で生活をしていることで安心しています。

塩崎 涼太さん（理学部物理学科2回生）

Q：食事や通学はどうしていますか？

A：朝食と晩ご飯は毎日寮の1Fのフードコーナーで食べています。大学までは自転車で通っています。

Q：卒業までまだ期間がありますが、今後も寮での生活を考えていますか？

A：快適なので、今後も卒業までは寮で生活していきたいと思います。

支部だより

広島支部

広島支部の第7回同窓会は、平成23年11月5日(土)クルージング船『銀河』にて38名の参加者で開催され、広島宇品港から宮島鳥居沖と広島湾を巡るランチクルージングを行いました。

当日は、同窓会本部から小池副会長が、東京章光会から荒木副会長が、四国支部からは渡部幹事が、大学からは法文学部総合政策学科本田博利教授のご参加をいただきました。

まず、岡田支部長の挨拶により定期総会を行った後、昭和28年卒仁田一也氏の乾杯の音頭により懇親会を行いました。参加者の紹介や本田先生から愛媛大学の様子についてお話しいただいたり、事務局から今回ご都合で参加できなかった同窓生のメッセージを配布させていただいたりして、とても楽しい会となりました。

また、宮島鳥居沖でのデッキタイムの後は、篠笛フルート奏者の梶川純司さんの篠笛の音に耳を傾けながらおよそ2時間にわたる同窓会を過ごしました。

最後の締めくくりでは、『愛媛大学学歌』、逍遙歌『若葉の古城』『三光寮を歌う』を声高らかに歌い上げ、名残を惜しみつつ、「来年もまたお会いしましょう」と散会となりました。世代を超えた交流を通じて、より同窓会の意義を高めていただいたように思います。

今後も、楽しい会にすべく臨んでまいりますので、より多くの方のご参加をお願いしたいと思います。

平成24年総会予定

日 時：10月20日(土) 13:30～

場 所：ホテルグランヴィア広島2F『ヴァンヴェール』
(JR広島駅新幹線北口直結)



役員

顧問	竹本 義昌 (昭和33年文理学部 人文乙卒)
顧問	楠本 淳 (昭和35年文理学部 人文乙卒)
支部長	岡田 禎之 (昭和40年文理学部 人文乙卒)
事務局	難波 宜久 (昭和62年法文学部 法学 卒)
幹事	村上 道機 (昭和43年文理学部 人文乙卒)
幹事	藤田 典子 (昭和53年法文学部 法学 卒)

(連絡先) 難波携帯 090-7777-6671

四国支部

第6回総会開催

平成23年11月11日(金)、松山市のピュアフル松山で四国支部第6回総会が開催されました。総会の前に税理士の西田和真氏による、これからの社会の関心事である「財政の現状と税制改正の方向性」についての記念講演会が行われました。



講演する西田税理士



総会懇親会終了後の記念撮影

第2回同窓会お花見開催

平成24年4月7日(土)、愛媛大学に集合し奥道後バスの送迎でホテル奥道後内の離れでお花見を開催しました。県外からの参加者も多く30名以上が参加して、奥道後の桜と雰囲気を楽しみました。会場の雰囲気も最高で、来年も開催予定です(スケジュールは下記)。



ホテル奥道後 別館 竹寿庵にて

第7回総会の案内

本年度は3年に1度の本部の総会開催年のため、例年のような総会は開催しません。本部総会の前に支部総会を開催し、その後に本部の総会及び共同での懇親会を予定しておりますので、ぜひご参加ください。

日 時：平成24年11月17日(土)

15:00～ 支部総会開催

場 所：愛媛大学法文学部大会議室(法文学部本館8F)

報告事項

1. 他支部総会交流報告 東京・大阪・広島他
2. 平成23年度 活動会計報告
3. 理事会・役員会他報告
4. お花見について
5. その他

協議事項

1. 来年度の活動について(お花見 他)
 2. 平成25年年度予算と本年度見込み
 3. 役員の変更について(本年度改選予定)
 4. その他
- ※その後は、本部総会スケジュールに準じる

懇親会費：3,000円

出 欠：同窓会報の参加通知葉書で10月24日(水)までに
願います。

問い合わせ先：詳しくは下記事務局まで

第3回同窓会お花見のご案内(予定)

今年は奥道後ホテルで開催したところ多くの方に参加いただきありがとうございます。20名以上でバスの送迎となりますので、下記の概要をご参考に多くの方をお誘いの上、ご参加ください。

日 時：平成25年4月6日(土)

12:50 愛大法文学部前集合

13:00 奥道後バスで出発

(帰日も大学までバスが出る予定)

※お風呂等の関係で公共交通機関等をご利用の方は、各自バス・タクシー等で乗り合わせの上、ご参加下さい。

場 所：ホテル奥道後 TEL 089-977-1111

松山市末町257 (道後より車で約15分)

(土曜日のため会場は開放されています)

(注1) 葉書にて、参加申し込みを頂いた方および本年度の参加者には、桜の開花状況等を見ながら、3月24日頃最終案内する予定です。

(注2) 奥道後ホテルは会社更生法を申請し、再建に向けて営業中ですが、お花見の条件等により、やむを得ず変更する場合があります。その場合も関係者には事前連絡をする予定です。

四国支部事務局連絡先 (問い合わせ先)

〒790-0047 松山市余戸南1-6-26(玉井方)

電話089-973-5048

副支部長 玉井周平 携帯090-8973-7650

E-mail tousui78@yahoo.co.jp

関東支部 [東京章光会]

第48回総会開催

平成24年度の東京章光会総会(第48回)は真夏の暑さの一時しのぎ7月21日(土)に例年通り、「愛媛大学サテライトオフィス東京」のあるキャンパスインノベーションセンターにて開催されました。

総会当日は松山より法文学部長の黒木幹夫教授、神楽岡幼子教授、法文学部同窓会本部事務局の後藤珠希さん、また、法文学部同窓会四国支部の宇都宮眞由美支部長、広島支部の岡田禎之支部長、他学部同窓会東京支部より多数のご来賓にご出席いただき、約60名の出席者をもって開催することができました。



愛媛大学サテライトオフィス東京で開催された第48回総会

総会では阿部会長の挨拶の後、会務報告におきまして、旧制松山高等学校の同窓生の方々と東京章光会の有志による寮歌を通じての交流(中央寮歌祭、東京寮歌祭への参加、合同忘年会の開催等)のご紹介をさせていただきました。

引き続き、黒木学部長による「昨今の大学事情」と題した講演会を開催、大学の独立法人化にともなう学内改革等のご苦労、愛大生の気質など盛りだくさんの内容でお話をいただき、参加者の皆様も熱心に聴講されておられました。



黒木幹夫法文学部長が「昨今の大学事情」と題して講演

続いて開催された懇親会では、神楽岡教授によるご挨拶、宇都宮四国支部長による乾杯のご発声等の後、懇親に入りました。途中、坊っちゃんに扮した松山市東京事務所の川崎氏によるPRを挟みながらおよそ2時間にわたり懇談いたしました。

永年の課題であります若手会員の参加者増につきましても、昨年初参加の若手に加え、数名の初参加者を迎えなごやかに懇談することができました。

再来年2014年の第50回記念総会を控え、より多くの方々、幅広い年代の方々に参加していただき楽しく交流できますよう、役員、幹事一同頑張っていきたいと思っております。



宇都宮眞由美四国支部長による乾杯

東京章光会 事務局 森脇孝典(昭和54年卒)

関西支部 [にきたつ会]

平成24年度の総会・懇親会については、諸般の事情により、時期を繰り下げて秋以降に開催する予定です。楽しみにしておられる会員の皆様には、誠に申し訳ございませんが、もうしばらくお待ちください。(8月時点でまだ日程が決まっていません)

連絡先

事務局 細川浩希 090-4290-3942

Graduation Memories



卒業生数

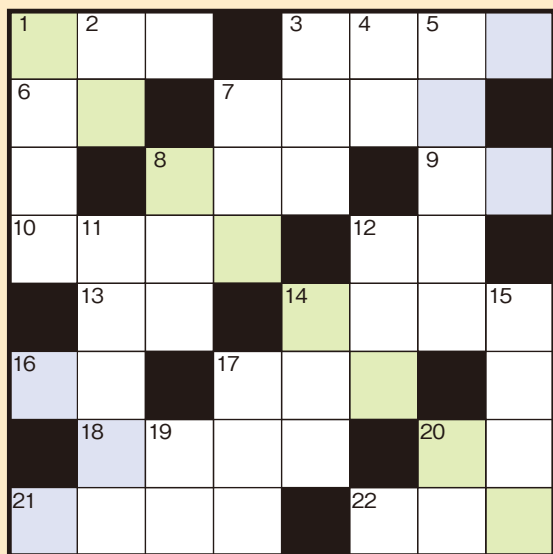
総合政策学科
昼間主256名 夜間主90名 (計346名)
人文学科
昼間主110名 夜間主64名 (計174名)



総合政策学科

問題

クロスワードの色がついた部分の文字をそれぞれ並べ替えてください。さて、2つの言葉から連想されるスポーツの種目はなんでしょう。



(出題：H16卒・矢野彰大氏)

- タテのかぎ
- ① 風の谷の○○○○
 - ② 食う虫も好き好き
 - ③ ハイドン交響曲第26番
 - ④ アックス
 - ⑤ 糸玉で迷宮脱出を助けた
 - ⑥ 「カブトムシ」「桜の時」「ナキ・ムシ」
 - ⑦ 江戸時代の身分制度。○○工商
 - ⑧ サスペンダー
 - ⑨ 金属製の道具を製造・修理
 - ⑩ 宮崎駿監督の作品が有名
 - ⑪ 栄養ドリンクに配合
 - ⑫ 映画の場面
 - ⑬ ドイツ語の「A」
 - ⑭ ゴルフの基準打数

●ヨコのかぎ

- ① 食用油の材料
- ③ とても青い様子。「○○○○とした空」
- ⑥ アーム
- ⑦ ラブワゴンと一緒に旅する
- ⑧ 漢詩や和歌など
- ⑨ モンゴメリ作。赤毛の主人公
- ⑩ 子孫繁栄を願っておせち料理に
- ⑫ 笑う○○には福来る
- ⑬ 英語で「弓」
- ⑭ 時流に乗った出来事
- ⑮ 単独・単数。○○芸人。○○ゾロ
- ⑯ 駅前にハチ公の銅像
- ⑰ ロシア帝国皇帝
- ⑱ エッフェル塔や凱旋門がある
- ⑲ 英語で「清潔な」
- ⑳ チェスでクイーンになれる駒

応募方法

同封の応募ハガキに正解をご記入の上、**2012年12月15日まで**に本会までお送りください。

賞品

図書カード1,000円分 20名

第15号 パズルの答え

正解：ザッケローニ



正解の補足▶タテ「カナエ」
元ネタは「鼎の軽重を問う」

【解答】



前回パズル当選者(敬称略)

解答者174人中、正解者174人

図書カード1,000円分 (20人)

水田 實(S37)、三好 和興(S38)、川本 太圓(S40)、村上 幸一(S41)
村上 宏子(S43)、西川 恵三(S44)、榊 千代子(S48)、釜谷 哲男(S49)
白石 時子(S51)、伊賀上 円(S60)、松岡 克美(H09)、山崎 麻子(H11)
武市志奈子(H11)、森吉 紘司(H12)、小野 佳世(H13)、梶原 沙知(H15)
仲里 泰子(H17)、岡田 京子(H18)、是沢 陽子(H22)、森口紗有里(H23)

主なリクエスト

●ハナちゃんの近況をこれからも載せてほしい。●愛大教員の研究テーマのコラムが読みたい。●卒業年次ごとの特集もあれば良いと思います。●もっと現役学生の声が聞きたい。卒業生にインタビューしたり、今の若者が何を考えているのかとか、どういうビジョンを持っているのかとか。●投稿コーナーがあってもいいかもしれない。●懐かしの食堂特集して欲しいです。●学内の施設の情報をいろいろ載せて欲しい。●学内の今の様子をもっと紹介してほしい。●大学とあわせて、松山、愛媛の今の情報も少しあると嬉しいです。

感想

●現在高校1年の娘が「卒業生の活躍する様子」に興味を示しています。●ページ数が多く、とても読みごたえがありました。毎回楽しみです。●ハナちゃんの近況などが分かってホッといやされました。●会報が届くと松山や学生時代のことを思い出し、とても懐かしい気持ちになります。●久しぶりに愛大に行きたくなりました。今度、学祭に遊びに行きます。●パズルの難度がちょうど良い。●会報の発行期とページ数がちょうど良く読みやすい。写真などもきれいで良いと思います。●会報自体の郵送にお金がかかると思うので、希望者には郵送停止してほしい。●若い世代もうまく参加できる形ができればよいと思います。その他、お礼や励ましのお言葉を多数お寄せいただいています。ありがとうございました。

パズル等の解答にいただいた個人情報、同窓会事務局が適切に管理し、賞品の発送および名簿データの更新にのみ使用いたします。

役に立った記事、面白かった記事ランキング

1位は「大学内施設紹介」(71人)、2位は「現代学生の経済状況」(50人)、3位は「退職された教員の方々」(37人)、4位は「Photograph around Campus」(28人)、5位は「卒業生から」(12人)。以下、支部だより(7)、インタビュー(6)、パズル(6)、同窓会提供講座報告(5)、卒業記念祝賀会(5)など。

【編集後記】

- 定年退職を機に、真っ赤なサイドカーを購入しました。人と違うものが好きな性格で、「悪のり」ついでに、とあるSNSで「車大好き☆三輪車☆」というコミュニティまで立ち上げちゃいました。(久保)
- 今年は総会の年。50周年記念の年から早3年経ったんですね。時の流れは年々歳々早まっています。そのスピードに負けないよう、こちらも全速力で走らなくては。(野崎)
- 会報をオールカラーにしてから9号目となりました。ここ近年は、他の編集委員の方々にお任せしっぱなしで申し訳なく思っています。次回は頑張ります！(小林)
- 御幸寮の取材では、寮の充実ぶりにびっくり!!! 寮生が快適で楽しそうに過ごしている様子が印象的でした。会報のご意見・ご感想、メールやハガキでお待ちしております！(後藤)
- 今回はご挨拶を担当させていただきましたが、結婚32周年？のヨーロッパ旅行中が締切で、スイスで書きました。文字数少ない分を写真でカバーしました。(山本)
- 小さな庭で野菜を育てています。不耕起・不施肥・無農薬・不除草の疑似自然農法です。実態はただの手抜きですが、何とか収穫できています。(鳥生)
- 省エネ社会を背景にハイブリッド、EVなど新型車の殆どはエコカー。それにしてもアイドリングストップ車、どうも落ち着かないのは私だけ？(戒能)

発行 2012年9月
発行者 愛媛大学法文学部同窓会
編集 愛媛大学法文学部同窓会編集委員会
事務局所在地 〒790-8577 松山市文京町3番 愛媛大学法文学部内
TEL 089-917-6376 FAX 089-917-6476
印刷 アマノ印刷